



平成 26 年 9 月 24 日

当院アラカルト

院長 三和敏夫

三和皮フ科クリニック（診療所）の現状を。院長は皮フ科認定専門医が（当市内に他には不在）。

パート医は長男（拓人）は某大学病院の皮膚科医。毎週水曜日の夕診（主に化粧品学、接触性皮フ炎、発毛症等）に当院で代診。

次男は形成外科、美容外科が東京の大学病院時代より熱心で（日本形成外科専門医）で今年の7月末まで一週間に3～4日間当院の専門外来で診療していたが、8月2日より岐阜市長良福光で「ともえだ皮フ科」を開業した（長良ピアゴのすぐ南）。今は多忙なので友枝Dr（幼少時、家内の実家へ養子）あての患者さんは、岐阜市まで（約20分の距離）行ってもらう。

3番目のお産が好きな長女は産婦人科医になり、県総合医療センターで研修、専門医をとった。数年過ぎるうちに早や2人の子供に恵まれて子育てに多忙。たまには皮膚科的婦人病や更年期障害、老人性皮フ病等には私に手伝い、アシストしてくれる。簡単に三人三様の生き方を述べてきたが、まだまだ未熟で精進中である。

私も70才台に入りフットワークもスタイルもやばったくなり、老化現象（物忘れ、視聴覚のおとろえ）が出初める頃なので、子供達に教えを受けつつあと3～4年現役活動をしたいと願っている。

長女
紀子



伏屋さんの
ブライダル祝宴